

子供たちの教育環境を整備するために、適正規模適正配置について審議している。答申を得た段階で協議・検討し結論を示したい。

**竹内** 適正配置審議委員会  
樺山分校の存続を云々するには相応しい場ではない。

地域エゴとの誤解がある。新しい学校とは何なのか。勉強してほしい。



## 笠原 啓仁 議員 … 4 件の一般質問

### 原子力防災協定 立地4町村と同等になるよう町長の主張を貫くべき

町長：16市町村で統一すべく協議していく

**笠原** 北電との原子力防  
災協定、立地4町  
村と同様の協定内容とする  
ことに賛成です。協定  
締結に各自自治体の一本化  
がなぜ必要なのか。何か  
問題や支障があるか。

議会や町民の意向を踏  
まえ判断するとしている  
が、どのように意向を踏  
まえるのか説明願う。

**町長** 東海第2原発や玄  
海原発では立地町  
村と同等の協定は拒否さ  
れている。

北海道に係る市町村の  
要望を吸い上げてもらい  
4町村と同様の協定とな  
るよう協議していきたい。  
まちづくり懇談会で説  
明したが、特に意見はな  
かった。議会は、総務常  
任委員会で説明している。  
今後の議会の意向を踏ま  
えたい。

**笠原** 安全協定がないと  
困ること、支障が  
あることを具体的に説明  
願いたい。

議会、町民にも説明だ  
けではないか。意向を踏  
まえるとはどういうこと

か。

**町長** 協定により16町村  
の連絡会議が設置  
され、環境放射時・平時  
の測定報告、立入調査の  
動向、風評被害も加えら  
れている。協定がない場  
合ゼロに近い。

まちづくり懇談会10か  
所の雰囲気では大体よろ  
しいと思っている。議会  
にはその都度相談したい。

**笠原** 町はUPZの範囲  
に入った。事故が  
起きた場合、国や道から  
情報が入らないのか。風  
評被害や損害賠償も法定  
事項ではないか。

**町長** 法的には、損害賠  
償と風評被害は、  
国の対応になる。協定で  
安心感や担保になると考  
える。

### 地域拠点病院 町民の意向は

**笠原** 町民が期待する地  
域拠点病院。町民  
がどういう病院を望んで  
いるかをどう把握し町民  
に愛され信頼される地域  
拠点病院を作ろうとして  
いるのか、説明願う。

**町長** 現在の地域センタ  
ー病院である厚生  
な医療機能を存続して、  
町民のための病院となる  
よう、体制・環境づくり  
に努めている。

救急医療等への財政支  
援、医師確保への取組み  
厚生病院の公開講座やま  
ちづくり懇談会での院長  
の話など町民に愛される  
病院づくりを支援してい  
く。

**笠原** 問題点を改善する  
ことで町民に信頼  
され安心できる病院がつ  
くれる。全町民を対象と  
したアンケート調査など  
も町民の意向やニーズを  
把握する方法のひとつで  
はないか。

**町長** 先生方は一生懸命  
やっている。  
アンケートもひとつの方  
法だが、難しい。

### いじめ防止 地域ぐるみの対策

**笠原** 国によるいじめ、  
学校安全等の取組  
方針、本町の取り組むべ  
き重点施策を説明願う。

**町長** 町全体で取組む姿  
勢を理解するが、  
条例制定の必要性の検証  
も必要。現状では、関係  
機関が連携し、必要な具  
体的支援が求められてい  
る。

**教育長** いじめの実態把握  
ケースに応じた適  
切な対応を検討し、早急  
に子どもを守ることが第  
一と考える。

**笠原** いじめにはさまざ  
まな要因、背景が  
ある。地域ぐるみのいじ  
め防止対策が必要となる。  
町ぐるみでいじめは許さ  
ない。条例制定がきつ  
かなくなるのではないか。  
検討願いたい。

### 給食センター 町民の声をどう活かす

**笠原** 町長、教育長共に  
住民参加、参画の  
まちづくり、住民との協  
働による重要施策の実施  
を唱えている。

**町長** 新たな給食センターの  
設置に住民の意見をどう  
活かすのか。

移転改築事業とし  
て、教育委員会  
十分協議を重ねている。  
食育や地産地消の推進な  
ど期待される。町民の提  
言や議論を通じ評価され  
るよう期待している。

**教育長** 町民の意見による  
広域化や方式の検  
討の結果、町単独のセン  
ター方式を決定。  
本年、用地を決定し基  
本設計など行い、基本計  
画案の情報提供を行い、  
意見を徴取し、検証する。

**笠原** 検討委員会など具  
体的な場で町民と  
の協働ができないか。

**教育長** 学校給食運営委員  
会の検討や直接の  
意見の他、パブリックコ  
メント・懇談会等で多様  
な意見を伺う。



## 磯田 龍一 議員 … 2 件の一般質問

### 地域資源を活用し、 再生エネルギーの構築を

町長：再生エネルギー利用の重要性は認識している



**磯田** 福島第一原発事故を契機に脱原発の動きが加速している。

原発に代わるエネルギーの確保が国の重要課題として注目され、エネルギーの大切さや節電等意識改革が進んでいる。

全国の農村部にある農業用水路を利用した小水力発電は、年間を通して安定した発電ができ、すでに全国で38施設が稼働している。

①脱原発とエネルギーの対応、その理念は。

②省エネの具体的な取り組みは。

③小水力発電等、再生可能エネルギーの導入促進にどう向き合うのか。

**町長** ①脱原発については、町民だけでなく多くの方が強く思っていることである。

原子力や化石燃料の依存型から自然エネルギーの活用が急速に高まっており、自治体の首長として将来的に脱原発社会を目指すのは当然のことと考えており、安定的な代替エネルギーの確

保が必要だと思っている。②本町では、地域環境や自然環境への負荷の低減、地球温暖化防止のための基本計画、地域推進計画を策定して二酸化炭素排出量の削減を目指している。

③後志総合振興局では、後志地域の小水力発電導入モデルの構築に向けた検討を行っている。北海道再生可能エネルギー振興機構も設立されている。

可能エネルギーの重要性は認識している。引き続き、情報収集などに努めて、研究開発による技術の進展や町の財政状況等を総合的に勘案しながら、導入利用について検討していきたい。



小水力発電としては注目されている農業用水路

### 統合される 中学校の有効利用

**磯田** ①施設の活用に対する庁内の意見、方向は。

②町長部局、教育委員会も含めた対応。

③子育て、保育、高齢者、交流総合施設の課題。

**町長** 現時点においては、まずは報告案に基づく課題などの整理を先んじて行いたい。

そのうえで、総合施設としての可能性について検討をしていきたい。

**教育長** 東陵中学校は、3月末をもって閉校します。

その後については、所定の手続きを行うことにより、学校という行政財産の用途を廃止し、その後普通財産として町長部局へ引き継ぐ予定で準備を進めている。

今後、町長部局の利用方針が決まったら、思い出の学舎であったことを強く認識し、教育委員会として協力できる部分について積極的に協力していく。



## 佐名木幸子 議員 … 3 件の一般質問

### アレルギー対応を学ぶ研修の推進

#### 町長：振興局レベルの研修会を要望していく

佐名木

日本人の3人に1人はアレルギーで苦しんでいると言われている、喘息や食物アレルギーなどアレルギーによる呼吸困難、意識障害といったショック症状が起きる場合がある。

この症状を和らげる方法に、エピペンという自己注射薬があるが、大変高額である。

一昨年に保険適用され、学校では緊急時に教職員が子供の太ももに打つことができるようになった。

このアレルギーに関するガイドラインは専門的用語が多いことから、関係者や町民にもわかりやすい研修会を開催してほしい。

町長

アレルギー疾患を増加傾向にあり、保育所での対応に苦労していることから、厚生労働省では、保育所におけるアレルギーの調査・研究を取り組み、アレルギー対応ガイドラインが作成された。

研修会の開催だが、最

近、喘息や食物アレルギーなどのアレルギーを持つ乳幼児の増加が指摘されており、生活の大半を過ごす保育所において、アレルギー児が健康で安全な保育所生活を送るための取り組みが求められている。

このような状況を踏まえて、振興局レベルでの研修会を開催してもらえよう要望していく。

#### 町営住宅の増設を

佐名木

一昨年実施され国勢調査で、高齢者のひとり暮らし世帯が総世帯の3割を超えている。

自宅を手放し町営住宅に入居したいというのは、高齢者に限らず、子育て中の若年層にも大変希望者が多いことから、増設を考えるとではないか。

町営住宅が抽選で当たらず、町外へ移住した方もいる。

以前、公営住宅の長寿命化計画の中に増設も盛り込んで検討したいと答弁していたが、その後は、

町長

本町には現在、町営住宅が9団地で471戸、道営住宅4団地で129戸合わせて600戸の公営住宅がある。

平成23年度には、俱知安町公営住宅等長寿命化計画を策定し、今後20年間の事業実施について検討している。

今後においては、コミュニティバランスが崩れることのないように、多様な世帯が混在する団地づくりを進める。



新築された白樺団地

#### 生徒間の「いじめ」根絶へ向けて

佐名木

最近のいじめの特徴は、些細なことがきっかけで被害者にも加害者にもなりえる状況にあり、一度いじめが始まるとターゲットとなつた1人を攻撃するケースが目立つ。

本町でのいじめの実態と状況、また不登校についても直近の状況を伺う。

教育長

本町における状況として、アンケート調査の結果、今までにいじめられたことがあるかという問いに小学生108名、中学生29名があると答えている。

今でもいじめられているかとの問いには、小学生52名、中学生12名で半数の子供たちがいじめが継続されていると答えている。

不登校の状況としては、小学校で5名、中学校では10名が不登校と報告されている。

教育委員会としては、いじめや不登校の解消に向けて、学校との情報共有や連携した対応はもちろんのこと、保護者や地域との連携・協力、ケースによっては医療や福祉などの専門機関の指導ももらいながら、すべての子供たちが楽しく健やかな学校生活を送れるよう取り組んでいく。

